

# 例会報告：2016年6月21日（雨） 第1939回 通常例会

## ニコニコ箱

櫻井 康二 委員長

	ニコニコ箱	累計	目標
6月21日分	6,000	1,049,224	1,300,000

## \*ビジター

川田 隆司様…お邪魔します。

## \*その他

清 康夫さん…眼底にレーザー光線をあててきましたので、サングラスで失礼します。

河野 秀雄さん…杉崎理事長、本日の卓話ごころ様です。JCも早いものでもう半期が終わろうとしていますね。後期もがんばって下さいね。

露木 清勝さん…①小田原青年会議所 杉崎理事長ようこそ!! 卓話よろしくお願ひ致します。

②19日の日曜日、小田原城北RAC 羽生君、杉本君の卒会に参加致しました。二人共、アクトで活動することで、すばらしい人生の糧を得たようです。これからの活躍が楽しみです。

柳井 涉さん…出張で昨年11月から西アフリカのブルキナファソから長女が無事帰って来ました。まだ私は会っていませんが、家内の話では少し色はさめたと本人は言っていました。かなり黒くなっているみたいです。

## ■ 今後のメークアップ情報 ■

-2016年7月-

- ▶1日(金) 湯河原 特別休会
- ▶1日(金) 足柄 年初例会 (わかふじ)
- ▶4日(月) 小田原 報徳会館 12:30  
「クラブ協議会① (活動計画発表)」
- ▶5日(火) 箱根  
「所信表明/会長・幹事」
- ▶6日(水) 小田原北 年初例会
- ▶7日(木) 小田原中 移動例会 16:00 だるま料理店  
「総会・クラブ協議会① (担当理事)」
- ▶8日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30  
「クラブ協議会①/会長・委員長/  
決算報告・予算提案」
- ▶8日(金) 足柄 おんりーゆー 12:30  
「卓話: RI出身国  
(アメリカ/ジョージ・ジャーム氏)」
- ▶11日(月) 小田原 移動例会 17:00 吉池旅館  
「クラブ協議会② (委員会活動計画発表)  
会員親睦会」
- ▶12日(火) 箱根 夜間例会 湯本富士屋ホテル  
「クラブ協議会 (副会長・各委員長)」
- ▶13日(水) 小田原北  
「1w前クラブ協議会」
- ▶14日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
- ▶15日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30  
「会員による卓話」
- ▶15日(金) 足柄 おんりーゆー 12:30  
「クラブ協議会」
- ▶18日(月) 小田原 休日休会

【小田原城北ロータリー・クラブ】  
 事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9  
 電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377  
 URL：http://www.odawarajhrc.jp  
 Mail：info@odawarajhrc.jp  
 例会場：小田原卸センター内会議室  
 創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日  
 例会：毎週火曜日 12:30～13:30  
 クラブ会報委員会  
 監修：柳井 涉  
 編集長：小林 和彦  
 コピーライター：小林 和彦  
 デザイン：小林 和彦  
 フィールド：大川 久弥

会員数：39名



RAC  
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください!



国際ロータリー第2780地区

# 小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780  
 ODAWARA JOHOKU R.C.  
 2015-2016  
 WEEKLY BULLETIN



世界へのプレゼントになろう

## 世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

### 本日の例会：通常例会 (第1940回)

会場：小田原卸センター内会議室  
 日時：2016年6月28日 12:30～13:30  
 司会：須藤 公司 副幹事

12:30	開会点鐘：木村 頼弘 会長 ロータリーソング斉唱 「それこそロータリー」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告/出席報告/委員会報告 同好会報告/ニコニコ箱 閉会点鐘：木村 頼弘 会長
13:00	クラブ協議会

【R.I. 会長】  
K. R. ラビンドラン  
【R.I. 2780地区ガバナー】  
田中 賢三  
【第9グループガバナー補佐】  
石崎 孝



【会長】木村 頼弘  
 【副会長】久保田 知子  
 【幹事】柳井 涉  
 【副幹事】須藤 公司  
 【会場監督】西 寛

## 楽しさと感動を呼ぶ一年にしよう

- 【今後の例会・卓話スケジュール】
- 7月5日(火) 年初例会 報徳二宮神社 報徳会館  
 受付 15:00～15:30  
 例会 15:30～16:00  
 会計報告 16:10～16:20  
 クラブ協議会 16:20～17:50  
 懇親会 18:00～19:40
  - 7月12日(火) 通常例会 12:30  
 卓話：PAG 石崎 孝 様  
 「AGを終えて」
  - 7月19日(火) 通常例会 12:30  
 担当：荻野会員  
 卓話：小田原ふるさと大使 合田 雅吏様
  - 7月26日(火) 通常例会 12:30  
 クラブフォーラム (会員増強)
  - 8月2日(火) 納涼例会 (夜間)
  - 8月9日(火) 通常例会 12:30  
 クラブ協議会 (AG訪問)

## ◆ ロータリー財団表彰



- ポールハリスフェロー
  - ・上田 博和さん
  - ・阿久津 馨さん
  - ・櫻井 康二さん
- マルチプルポールハリスフェロー2回目
  - ・辻村 彰秀さん
  - ・柳井 涉さん
  - ・齋藤 永さん
- マルチプルポールハリスフェロー3回目
  - ・三宅 常公さん
  - ・安藤 克己さん
  - ・杉崎 勝成さん
  - ・石崎 孝さん
- マルチプルポールハリスフェロー6回目
  - ・河野 秀雄さん

## 例会報告：2016年6月21日（雨） 第1939回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室  
日時：2016年6月21日 12：30～13：30

### ❖ 会長挨拶



「限界効用逓減の法則」について

木村 頼弘 会長

もうすぐ暑い夏がやってきます。喉が渇いた時、ビールの好きな人にとっては一杯目のビールはものすごく美味しいと思います。でも、二杯目・三杯目になったらどうでしょうか。美味しいけれど、やはり一杯目の美味しさを超える事は出来ないと思います。十杯目になったらどうでしょう。もはや美味しさも感動も差ほど感じない、ただの水みたいな感じになり、飲む事すら苦痛に感じるのではないのでしょうか。どんなに美味しい料理も、どんなに好きな音楽も、どんなに素晴らしい景色も同じ事を繰り返していると、新鮮さも感動も徐々に失われてしまいます。すなわち人間は慣れやすい習性があり、直ぐに飽きてしまう生き物です。このような現象を「限界効用逓減（げんかいこうようていげん）の法則」と言います。

裏を返せば、人は常に新しい物、新しい刺激を受ける事により、成長していく生き物です。世の中には「栄枯盛衰」という非常に儂い（はかない）法則があります。組織や団体の衰退の原因の一つに「マンネリ化」という問題があります。

ここ数年、RCでも退会者が増えています。理由は様々ですが、クラブに飽きてしまった事が原因で、辞めた人も少なくはないと思います。例会に来る事が生活の一部になっている人もいますが、しかし、例会に来る事に意義を見出せない人もいます。また、ロータリーには出席義務があります。その義務を果たすには、やはり刺激や楽しさが絶対に必要です。新しい刺激や楽しさを取り入れるという事は、決して簡単な事ではないと思います。

当クラブを先ほどのビールに例えるなら、今は4杯目か5杯目だと思います。速く手を打たないと、このクラブも10杯目のビールのように、感動も喜びもないたいして価値のないクラブになってしまいます。

自分がここに居る価値を見出すには、何が必要か、自分で考える時期が来ています。そして、クラブにとって何が必要か、皆で考える時期が来ていると思います。

もうすぐ次年度が始まります。また新会員も入って参ります。同じ事の繰り返しではなく、皆で知恵を出して、次年度に向けて新しい風を吹き込んで行きたいと思っております。

### ❖ 幹事報告



柳井 涉 幹事

1)次週例会は木村年度最終例会です。田中ガバナールをお迎えをして新会員入会式を行います。

### ❖ 出席報告

守屋 善男 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
6月21日	39(38)	32	0	84.21%
6月14日	39(38)	31	0	81.58%
6月7日	39(38)	31	1	84.21%

【欠席者】6名

木村 啓滋、志澤 昌彦、西 寛、一寸木 芳行、長田 英一、上田 博和

【今回MU】なし

【前回MU】増加なし

【前々回MU】増加なし

### ❖ 委員会報告

お詫び

露木会員から報告がありましたが、テープが不調だったため内容が確認できませんでした。露木会員に内容を確認させて頂き、次号に掲載させていただきます。申し訳ございません。

クラブ会報委員 小林和彦

### ❖ Table flower

- アジサイ
- ジンジャー
- ペロニカ
- チースエバーライト
- サラシダ

【花言葉】

アジサイ：「移り気」  
ジンジャー：「豊かな心」  
ペロニカ：「忠実」



### ❖ 卓話

「大きく和する」



公益財団法人 小田原青年会議所  
理事長 杉崎 尚人様

公益財団法人小田原青年会議所第59代理事を務めております杉崎尚人と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日は貴重な機会を頂き、ありがとうございます。プロフィールはお手元の資料をご参照ください。私は、小田原の田中組さんの隣で今は空き地になっている所で40年前に生まれました。仕事は華道家という珍しい職業をしております。京都の御室御所仁和寺に伝わる御室流という流派で、59代目の宇多天皇という人が995年に立ち上げた流派です。私の祖父が当時国鉄に勤めており、京都勤務の時に御室流と出逢い、関東支部長としてこの地に広めて私で3代目になります。それから高校まで地元で学生生活を送り、その後箱根ロータリーにも入っております小田原フラワーの澤田社長から紹介され、東京の生花店に勤めながら華の修業をしました。さらに、いけばなとドイツ流のフラワーデザインの考え方が似ているので、ドイツにも修行に行きました。そこで、日本文化が海外で称賛されていることを目の当たりにしました。例えば、お湯を沸かす「ヤカン」は、その形が理にあっていて、その機能美がとても素晴らしいとの話を聞き、日本人として誇らしく思いました。その後祖父の体調の関係で地元小田原に戻り、まず地元の人とのネットワークを広げようと父の繋がりで巡礼フューチャー、その繋がりで小田原青年会議所、扇町商工振興会、商工会議所青年部、法人会青年部と小田原華道教会等々入会させて頂いており、現在その所属団体の会員や、仕事に関わる地域の皆様、そして何より今年はJ Cの理事長をさせて頂いてさらに多くの皆様方と交流できる機会を頂き、まさに人生を謳歌しとても楽しく過ごさせて頂いております。

小田原青年会議所では何をしているかということの説明する前にまず背景となる要素をお話させていただきます。まず、現在の日本の状況です。昭和30年～45年に500万人が東京へ移住する時代がありました。国土交通省の調べ ヒト・モノ・カネ、情報・文化・経済が一極集中し、世界の主要都市で事故が起きた時の危険度ランキングでは、東京がダントツTOP。2位ニューヨーク、3位ベルリンと危険信号が鳴っております。そして地方の人口減少、食料・エネルギーの問題が上がっております。そして日本の人口は1億2千万人から40年後には4000万人で8000万人ということは、大阪から西の人がいなくなるという現状です。さらに日本の出生率は1.46から1.8に戻していこうと僕の生まれた昭和50年当時に戻そうという国が目標を掲げております。そしてGDPを400兆円から600兆円に。昭和40年代から50年代にかけて、地方が元気だった。それは、公共事業による所得と雇用状況が良好。しかしその頃と同じことはもうできない。必要な公共事業は最小限に。かつてのものづくり日本を違う分野で取り戻していく必要があるのではないかと。日本の農業、漁業、林業は、その可能性を秘めている。例えばアメリカ・ニューヨークやヨーロッパでは、OBENTOが辞書にのる位浸透し、アジアでは、日本の米が麻薬と呼ばれる位その美味しさと魅力を感じてきている。漁業に関しても、漁から瞬間冷凍技術・運搬・各店舗の調理技術や見せ方まで「和食」が無形文化遺産になるまでブランディングが出来てきている。

森林も国産材の使い方次第では、一大産業になり得る可能性が出てきている。そして全てを網羅するのが「観光」。観光は、春夏秋冬の四季、折々の山・川・海・里の自然、歴史・伝統文化・芸術、食と酒。そしてその地域を愛し、未来へ繋げていこうとする人が活性化の5つのポイントです。そして日本の80%は、サービス業。しかしその生産性はアメリカの半分以下。その可能性は十分。やりっぱなしな行政、無関心でどっかで誰かがやってくれると人任せな市民。行政が何でもやる時代は終わった。自分だったらどうするのか。我がまちは、自分たちで切り開く。その想いが重要。逆に世界の現状は、1年で7200億人増えている。

次に、今の小田原の状況です。今年の3月までに、各市町村から総合計画を提出するよう国からのお達しが出ました。そして小田原市からは、総合計画の後期と観光戦略ビジョンが出されました。そして小田原箱根商工会議所からは、小田原箱根観光ビジョンが5月に発信されました。そのような背景の中、これから自分達に何ができるのか。やるべきことは何なのか。小田原JCが声を大きくしていることが、様々な団体や皆様方素晴らしい活動をしている。しかし別々に、バラバラに展開している。その力がまとまったらすごい力になるのではないかと。「大きく和する」をスローガンにみんなでやっていこうと声掛けをしています。

また、国内や世界から、お客様がこのまちを選ぶ一番可能性のあるキーワード「城下町」のコンテンツや魅力を高め、このまちにお客様をひっぱってくる。現状、小田原JCは単年度制で良い部分もあるし、悪い部分もある。継続性が課題に挙げられています。それを補填しよう。理事長として声を発した責任をとっていこうと今後一般社団法人小田原城下町を立ち上げようとしております。その内容は、今年のJCの運動と連動して、城下町のそのコンテンツの魅力を高め、このまちのみんなの共通の目標を掲げ、よその地域からヒト・モノ・カネ・コトを引き寄せます。具体的に言いますと、この地域がワンストップで日本文化を楽しめるまちへ。今もう少しで決定になりますが、大相撲小田原場所の開催。そしてもっとネットワークを作って、小田原城付近に相撲茶屋等観光の拠点も作っていきたくいです。そして歌舞伎や寄席というザ日本文化もわがまちに引き寄せてみたいのです。また直接的に外国人観光客を誘致するために、その力を持っている会社の社長さんと協力体制が取れました。日本でしっかりインバウンドをやって効果を上げている会社が日本で3つくらいしかないのですがその内の1社と連携体制がとれました。その会社は主にアジア各国に強い繋がりをもち、その連携体制もとれました。そのようなものを目指しこれからやっていきたいと思っております。外国人がまちいっぱい溢れた時、様々な不具合が生じると思っています。その都度みんなに対応すれば必ず良い方向に動くと思っております。2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、地域間競争に勝ち抜いていかなければならない。さらに勝ち抜いていける我がまちの姿とは。観光いう切り口で地域にとっての外貨を稼ぎ、我がまちが稼ぐ地域をなり、その稼いだ資財で未来に対する投資をしていく。更に公共サービスや「いきがい」や「なりわい」を充実させ、人口を増やしていくという良循環に回していくことが必要です。結びとなりますが、「大きく和する」ことを今後の目標に頑張っていきますのでご協力頂けたら幸いです。城北ロータリーの益々のご発展と皆様方のご多幸を祈念いたしまして、また、本日機会を頂きました事に御礼申し上げます私からのお話とさせていただきます。ありがとうございました。